

鎌倉市下水道事業特別会計

(款)5総務費 (項)5下水道総務費 (目)5一般管理費

◎下水道一般の経費

運営事業

【 都市整備総務課・道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 部内各課

意図 事務事業の進行管理及び連絡調整を行い、円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の円滑な執行を図る。

【事業の内容】

(1) 運営事業

・下水道事業に係る郵便料や保険料、各種負担金など運営に係る庶務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,733	44,331	42,193		2,138
主な支出内訳				
・運営事業				
臨時的任用職員賃金				136
放流水影響調査対策協議会委員謝礼				42
普通旅費				373
研修旅費				52
郵便料				447
下水道損害賠償等保険料				1,558
日本下水道協会負担金				710
日本下水道事業団負担金				392
下水道責任賠償金				0
消費税及び地方消費税等公課費				37,713

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門		都整-29 運営事業(下水道特会)				
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	530 経理庶務事務					
		530 保険料等					
		530 報酬または賃金など					
		530 事務郵便料					
主管課 分野名	都市整備総務課		関連課	部内下水道関連各課			
目標 (目標値)	下水道・河川						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	41,718千円	56,969千円	39,877千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	41,718千円	56,969千円	39,877千円			
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人			
	人 件 費	9,367千円	9,152千円	9,115千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	51,085千円	66,121千円	48,992千円			
	市民1人当 りの経費	289円	376円	280円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由		妥当性※			
経理庶務事務	△ 15,251	確定申告により消費税及び地方消費税の納付額が 減ったため		④	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・下水道事業特別会計の庶務や経理が円滑に行えるよう努める。 ・部内各課が発注する事務処理において、透明性・公平性・合理性の明確化を図る。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・業務を行ううえで必要な事項について、部内会議、プラット等を活用し、情報の共有化を図り、業務の円滑な運営に一定の成果をあげた。 ・事務処理の透明性・公平性・合理性を図るため、部内の随意契約に関する基本方針を作成した。また、その中で契約書や事務処理に必要な添付書類等について様式を統一し、部内の共有化を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 下水道事業の経営計画の策定等課題が多く、創意工夫、課題等の改善を行っているが、現在の人員では更なる業務の円滑化は厳しい。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 部内各課の協力体制を築きながら、円滑な業務運営に対応していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	部内の庶務・経理事務の取りまとめが主な業務であることから、大きな方向性の転換はできないが、部内を統括するうえで、様々な機会をとらえ、業務における情報の共有化の徹底を図り、業務が円滑かつ効率的に行えるような仕組みを作り、不適切な事務処理を防止する。				
担当課長氏名:		都市整備総務課長 小磯 一彦			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	現状の方向性を維持しつつ、円滑かつ効率的な事務を行う。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-32 運営事業(下水道特会)						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	530	経理庶務事業				
主管課	道水路管理課	関連課					
分野名	安全で快適な生活が送れるまち						
目標 (目標値)	生活環境や住民ニーズの多様化に伴う迅速かつ的確な対応を目指す						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	475千円	463千円	450千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	475千円	463千円	450千円			
	人員配置数	0.4人	0.5人	0.5人			
	人件費	3,608千円	4,592千円	4,702千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	4,083千円	5,055千円	5,152千円			
	市民1人当 りの経費	23円	29円	29円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
					※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)極楽寺ポンプ場管理舎の燃料費及び光熱水費：問題なし: (2)下水道賠償責任保険の保険料:問題なし
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	当面は現状を維持しながら、事業の進展に応じて必要な見直しを行う。				
担当課長氏名:		道水路管理課長 稲葉 一男			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	現状のまま維持継続とする。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		